

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課	■担当係	健康係
■評価事業名称	肝炎ウイルス検診事業		
■事業開始年度			
■評価事業コード	040200 - 091	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり	
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実	
	■施策	02 病気の予防、早期発見、早期治療の推進	
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に定めはあるが任意の自治事務		
■法令等の名称	健康増進法により国が定める肝炎ウイルス検診要領		
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	肝炎ウイルス検診を受診することにより、肝炎ウイルス感染の状況を認識し、必要に応じて保健指導を受け、医療機関を受診することにより肝炎による健康障害を回避し、症状を軽減し進行を遅延させることを目的とする。C型肝炎ウイルス検査、HBS抗原検査について、40歳～75歳(5歳刻み年齢)節目検診及び41歳以上で未受診者の検診を行う。		

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成27年度事業計画	平成27年度事業量実績
01	肝炎ウイルス健診事業	5歳刻み年齢及び41歳以上で平成14年度以降	集団健診69日間実施。 個別健診27医療機関実施。	対象者10,258人 受診者1,865人 受診率18.2% 集団健診69日間実施、個別健診27医療機関実施。

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
直接事業費	4,207	4,258	3,527	7,092	
人件費	944	2,290	2,830	1,936	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	5,151	6,548	6,357	9,028	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	指標の説明
01	肝炎ウイルス検診年間検診日数	69日	68日	66日	69日	特定健診と同じ。
03	肝炎ウイルス検診の受診率	12.3%	12.9%	10.1%	18.2%	受診者÷対象者×100
04	コスト	74.7千円	96.2千円	96.3千円	130.8千円	フルコスト÷検診日数

事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

05	コスト	4.67千円	5.9千円	8.3千円	4.8千円	フルコスト÷受診者数
----	-----	--------	-------	-------	-------	------------

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況 ☒ A. 順調 ☐ B. 概ね順調 ☐ C. 遅れている	達成状況の分析 平成26年度と比較して受診者数が大きく増えた	問題点・課題等 年度によって予測できない受診者数の増減があり、次年度の予測が難しい
1. 直接的な受益者の範囲 ☐ 不特定多数に及ぶ ☒ 特定されるが多数に及ぶ ☐ 特定少数に限定される	2. 事業廃止の影響 ☐ 大きな不利益やリスクが生じる ☒ ある程度の不利益やリスクが生じる ☐ 不利益やリスクは小さい	3. 国・県・民間との競合関係の有無 ☒ 類似の事業はない ☐ 類似の事業はあるが競合はない ☐ 類似の事業があり競合する
4. 事業へのニーズの変化 ☐ ニーズが高まっている ☒ ニーズは変わらない ☐ ニーズが低下している又は合致しない	5. 施策の改善需要度(市民意識調査) ☐ 順位が高い ☒ 順位が中程度 ☐ 順位が低い	6. 施策の優先度(市民意識調査) ☒ 順位が高い ☐ 順位が中程度 ☐ 順位が低い
7. 他市町村に比較しての優位性 ☐ 先進的またはユニークな事業である ☒ 他と同程度の事業である ☐ 遅れている事業である	8. 実施主体の代替性 ☒ 民間委託等の拡充は難しい ☐ 民間委託等の拡充が十分に可能 ☐ 全部委託や実施主体の移行が可能	9. 経済性・効率性の向上 ☒ 今以上の効率化や改善は難しい ☐ 効率化や改善を図ることは十分に可能 ☐ 効率化や改善の余地が大きい
■事業の見直し方策		■今後の方向性 ☐ I. 拡充 ☐ IV. 廃止・休止 ☒ II. 継続 ☐ V. 完了 ☐ III. 縮小